

おあしす



特定医療法人 南山会

親切 安心 信頼

峡西病院・峡西老人保健センター・きづな
・アルプス訪問看護ステーション

2021

10

第35巻10号
(通巻410号)



櫛形山は富士山の絶好の撮影スポットのひとつです。富士川町から16kmにも及ぶ長い丸山林道を車で走り、池の茶屋林道の分岐点あたりに撮影スポットはあります。ここは前が谷になっており、前景に邪魔になるものはありません。谷の先に雲海に浮かぶ富士山のシルエットが浮かびます。富士の右手前に連なるのは、本栖湖脇の竜ヶ岳から始まり、毛無山(標高1,964m)を盟主とする南北に細長く連なる天子山塊です。撮影は朝に限ります。逆光気味なのがかえって幻想的な雰囲気醸し出しています。朝日に黄金色に輝いているのは落葉寸前のカラマツの林です。



峡西病院の理念

「その人らしさ100%」

峡西病院の方針

1
説明と納得の
医療

2
多職種の連携

3
「こちよさ」の追求

4
社会参加の推進

精神科訪問看護について

精神科訪問看護という支援をご存知でしょうか？

アルプス訪問看護ステーションは地域で暮らし精神障がい者に継続的なケアを提供するために、対象者の自宅やグループホームなどを訪問して「その人らしい生活の維持」への支援をする看護活動を行っています。

『当事者が主体（主役）』の支援です。

当事者が在宅で未来に向けてどんな生活を送りたいのか？ 夢や希望は何か？ リラックスする時はどんな時？ など話を聴きます。また、困りごとや不安に対して、その解消に向けて、対処法と一緒に考えていきます。

当事者の強みを生かしながら最終的には、自分で病気や薬、金銭管理など生活全般においてても自律できるように、助言します。

暮らしの場での支援ですから、生活全般において評価が必要となります。そこで評価表を用いて、生活や症状などを聴取し、何ができて何が苦手なのか話をします。カン

ファレンスの場で情報共有し、支援者全体で今後のケアに活かしていきます。

今年度はWRAP（元気回復行動プラン）の勉強会を月に一度開催し自分の『WRAP』を作成中です。自身の取扱説明書が出来つつあります。（笑）

訪問看護師は当事者を中心とした医療・支援者チームの一員です。各支援者や地域を巻き込んで連携を図りながら当事者の地域での命と暮らしを支えています。

私たちが大切にしているのは「家族にも癒しを」を念頭に、家族にも話を伺いながら、その想いに寄り添っています。

現在アルプス訪問看護ステーションには、看護師12名、作業療法士2名、事務員1名、合計15名在籍しております。軽自動車を7台所有しております。一番遠くで南部まで訪問しております。安全運転にも気を付けながら、これからも活動していきたいと思えます。

アルプス訪問看護ステーション

所長 細田 幸香

障害福祉サービス事業について

きづなグループは、南山会の障害福祉サービス部門を担っています。

障害福祉サービスとは、障害者総合支援法に基づき、身体や精神の障害のある方や特定の疾患のある方が地域の中で生活を続けていけるように支援するサービスのことです。

きづなグループが行っている障害福祉サービスを紹介します。

●地域活動支援センターきがる館

きがる館は地域で暮らし障害のある方が安心・充実した生活を送るお手伝いをしています。

具体的には、地域の居場所として、創作活動の機会の提供、仲間やボランティアとの交流、当事者活動の活性化、社会資源の紹介や地域社会との連携強化などに取り組んでいます。

●就労継続支援B型アルプスファーム

アルプスファームは障害のある方に働く機会を提供するとともに、自立した社会生活を営むことを目標として訓練・支援しています。

仕事内容は峡西病院と峡西老人保健センターの清掃とフリーニングです。仕事以外にもレクリエーションや仕事に関する勉強、研修会なども行ないます。

●相談支援事業きづな

施設からの退所や病院からの退院をす

るときに、退所や退院に向けた相談や支援をします。

●計画相談支援

障害のある方等からの相談に応じ、必要な情報の提供、障害福祉サービスの利用支援を行います。

その人に合った適切なサービスが受けられるように、サービス等利用計画を作成し、一定期間ごとの見直し、関係機関との連絡調整を行います。

●共同生活援助（グループホーム）

障害のある方が世話人などから生活面や健康管理のサポートを受けながら地域で共同生活を営む小規模住居のことです。

日中は職場や就労事業所、病院のデイケアなどへ通い、グループホームへ帰宅後、食事や入浴などを行います。

グループホーム入居が最終目標ではなく、利用者のニーズは多様です。ご家族や各関係機関と協力しながら、一人ひとりの希望する生活が実現されるよう支援します。

障害のある方への様々な福祉サービスは、自立した暮らしを支えるために必要なものです。

きづなグループではこれからも、住みなれた地域で安心して、その人らしい生活を送るお手伝いをしていきます。

障害福祉サービス事業きづな

久保志津子

令和2年度 目標管理発表会



◇ 敢闘賞 ◇
リスタート
樋口陽子・堀内麻衣

た、その取り組みを行うことで自らの看護技術や病棟の既存のやり方などの見直しもしたいと考え、挑戦理由にした。

活動内容

- ① 年間の活動内容・目標設定の作成
- ② 看護技術チェック表の作成
(VS測定・与薬・摘便・流腸・坐薬・静脈血採血・点滴静脈注射・吸入・酸素投与・経管栄養・咽頭検査・血糖測定・インスリン注射・筋肉注射・導尿・膀胱内留置カテーテル)
- ③ 主要疾患の学習の依頼
(脳梗塞・脳出血・慢性硬膜下血腫・心不全・肺炎・誤嚥性肺炎・イレウス・尿路感染・蜂窩織炎・糖尿病)
- ④ 要観察者の受け持ち実践
(情報収集・観察・フィジカルアセスメント)
- ⑤ 疑問点の洗い出し
(1か月・3か月・6か月評価)
- ⑥ 急変時対応
- ⑦ マニュアル・ガイドラインの修正
- ⑧ アンケートの実施・まとめ

目標
新卒入職者の知識・技術の習得が確実にできるよう、ガイドラインやチェックリストを作成し、安心して業務が遂行できるようサポートしていく。また、自分自身の知識・技術の見直しをはかる。

目標挑戦の理由

今まで、既卒者のリスタート病棟への入職は沢山あったが、新卒者の入職受け入れは初めてであった。ガイドラインなどを作成し、新人教育制度を整え、確実な看護技術の習得・病棟での業務を覚えてもらい、安心してリスタート病棟で働けるようにサポートしていきたいと考えた。ま

挑戦目標に対する取り組みの成果

- ・ 年度末には責番・夜勤A（リーダー業務）をこなせるまでになった為、目標を達成できたと思います。しかし、慢性的な人員不足であり、年間計画の入院受けやパス、面接に入る事ができなかった。
- ・ 指導の進捗はゆっくりとした進め方になりましたが、結果として患者さんと多く関わる時間が取れ業務内容をしっかりと身に着ける事ができたと感じた。
- ・ 今までは、病棟配属後、最初に夜勤Aを経験していたが、この新人教育を実践する中で夜勤B（リーダー補助業務兼介護業）を何度か経験し夜勤の流れ、夜勤の状況を把握してから夜勤A（リーダー業務）に移行するやり方を見いだせた事は大きな収穫だった。
- ・ 看護技術のチェックリストを紙媒体で作成したことで、技術面の見直しや振り替えりと前回実施した技術との比較ができたことはとても良かったと思う。
- ・ チェックリストや、年間のガイドラインをスタッフへ周知していくことが上手く出来なかった事が課題として残った。しかし、病棟スタッフ皆で声を掛け合い、新人スタッフを育てていく雰囲気があり、とても助けられたと感じた。また、年間ガイドラインやチェックリストがあった事で、新人スタッフを育てるという意識づけにもなったと考える。
- ・ 急変時対応を実際に起こりえる

ケースを設定し訓練した事で、新人スタッフが理解できていないところが分かり良かった。2年目以降の課題として習得できるように関わっていく。

- ・ 新人教育を目標管理で取り組み事で既存のやり方や方法を検討するきっかけになった。

まとめ

- ・ 新人スタッフと密に関わる事が出来、感じている事をタイムリーに聴くことが出来たため、既存の方法を振り返り新人教育に反映する事が出来た。
- ・ 入職者は、本人、病棟双方に大きな期待と不安があると考えその思いを汲み取り、丁寧に関わることで、今後の成長にも大きく関係してくるため、新人・既卒双方の教育に今後力を入れる必要があると感じた。
- ・ 常に、忙しい業務をこなすことに必死になってしまいがちだが、新人スタッフと共に考え、感じることで我々も初心を思い出し、より丁寧で心のこもった看護を提供できるようにしていく。

最後に

・ 今後も新人、既卒スタッフが入職してくると思います。新人教育を大切にし、自分が入職したときの気持ちを忘れずに、共に成長していければと思います。

ブリエ病棟夏祭り

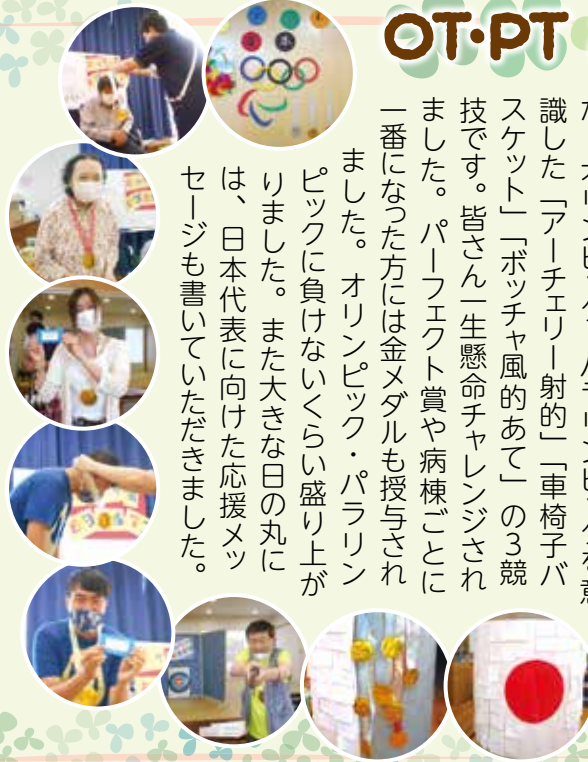
ブリエ病棟では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、病院全体での大きな祭りが開催できないこともあり、病棟独自のお祭りを開催しました。感染予防を徹底しながら、焼きそばやお好み焼き、わたがし、かき氷などの模擬店を楽しみました。また病棟のドリームグループの活動では、担当スタッフの尽力にて、女性参加者様がそれぞれ好みの浴衣を着て、髪を飾り、お化粧品をしてグループのお祭りを行いました。選んだ浴衣がよく似合っており、皆さんとても素敵でした。



OT・PT だより

がんばれ日本 スポーツ・ゲーム大会

8月のレク行事事務委員会主催の病院行事は、「委員会考案の新しいゲームにチャレンジ」でした。オリンピック・パラリンピックを意識した「アーチェリー射的」「車椅子バスケット」「ボッチャ風のあて」の3競技です。皆さん一生懸命チャレンジされました。パーフェクト賞や病棟ごとに一番になった方には金メダルも授与されました。オリンピック・パラリンピックに負けないくらい盛り上がりました。また大きな日の丸には、日本代表に向けた応援メッセージも書いていただきました。



精神科 デイケアだより

Q & A

プログラム以外の時間は、どのように過ごせばよいのでしょうか？

★デイケアでは、「このように過ごさなければいけない」というようなルール・決まりはありません。利用者さんの数だけ過ごし方があると言っても過言ではありませんが、比較的多いのは、

- ▶ 他の利用者さんと話す
- ▶ テレビを観る
- ▶ ひとりでぼーっと過ごす (休憩する)
- ▶ ご自身の趣味・好きなことなどに取り組む

といった過ごし方でしょうか。デイケアを利用し始めた頃は、時間の過ごし方で戸惑う方が多いように感じています。そうした戸惑いのお気持ちを含め、スタッフと一緒に相談しながら、自分らしい時間の過ごし方を見つけていきましょう。

プログラム紹介

復職準備型プログラム

「プレミアムフライデー」

【活動曜日】 第4週金曜日午後

【活動場所】 院内または院外

【活動内容】

月に一度、リワークを頑張ってきた自分にご褒美ということで第4週金曜日の午後に開催されています。企画はプログラム担当のスタッフが行うのですが、最近のトレンドを取り入れたり、特別感がありながらも誰でも触れやすい活動を企画しています。プレミアムフライデーという言葉自体忘れられがちですが、頑張ってきたご褒美はストレス対処にも繋がりますし、さらには自己肯定感、自信の回復にも繋がります。健康に働き続ける一環として参加してみたいかがでしょうか？

今年は、燻製体験・お花見・プレミアムなパンケーキを作るなどの企画を行ってきました



興味のある方、見学や利用をお考えの方は、スタッフまで気軽にご相談ください。☎055-282-2151

* ホームページがリニューアルされました。ぜひ、ご覧ください。

関西病院 リハビリのご案内 検索

ろうけんTimes

老健職種紹介 & 施設内研修



言語聴覚士紹介

言語聴覚士とは「Speech (話し) Language (言語) Hearing (聴覚) Therapist」と呼ばれます。言語、聴覚、発声、音声、認知などのコミュニケーションに関わる各機能に病気や事故、発達上の問題など（失語症、高次機能障害、こじばの発達の遅れ、声や音声の障害、聴覚障害など）の障害がある方に対して、商家から高齢者まで、自分らしい生活を構築できるようにハビリを行う専門職です。また、摂食・嚥下に対しても専門的に関わらせていただいています。当施設では、主に高齢者の方の言語訓練、嚥下訓練、認知訓練を中心にリハビリ提供させていただきます。

研修会

接遇チェックリストの作成。

私たちは普段、当たり前のように利用者様のケアをしている。それが仕事だから。しかし、人が人をケアするにはプロ意識をもって接しなければ、いいケアは出来ないのではないかと考える。そこで今回、接遇委員会として虐待の観点からということに視点を置き、チェックリストを作成しました。その説明会を8月25日に時間外研修を開催しました。自分の接遇について年2回、自己チェック1回目より2回目が良いように自己採点をするといった内容です。

また、それだけではなく、施設内での不適切ケアケアをなくすために、施設内職員からの情報を集め実際にどの程度の不適切ケアがなされているのかを把握すると、今後委員会の中で対応を考えていきたいと思えます。

今日の活動記録

通所リハビリ

折り紙でレモンを作りました！



天竺のおやつ会、アイスの会、あんみつの会

一般棟

みんな美味しく召し上がってました！



クレープの会、ブドウ狩り、足湯の会

認知症専門棟



クレープを作り召し上がったたり、足湯で日ごろの疲れをいやしたり、ブドウ狩りは、オレンジ広場にブドウをつるして挽いでいました。



* 峡西老健もホームページがリニューアルされました。

峡西老健 検索



峡西老健の理念

優 優しさ

友 友愛

結 人と人

本の紹介コーナー

今回は、小松寛志さんにおすすめの本を聞きました！

本の題名：安永稔和詩集 春よめぐれ

(編集工房ノア／出版2015年1月17日)

●読んだきっかけは？

2016年5月9日、私は詩人・桜井節さんが主宰する清里の森・自在舎「ぜびゆるす」での「詩人・安水稔和（やすみず・としかず）さんを囲む会」に参加し、20年以上、鎮魂と再生の詩を書き続けている神戸市在住の安水稔和さんからご自身の詩集『春よめぐれ』にこめた想いを伺いました。

●おすすめのポイントは？

安永さんは1945年6月5日、神戸大空襲、神戸市須磨区で被災、13歳。50年後の1995年1月17日、阪神・淡路大震災、神戸市長田区で被災、63歳でした。そして阪神・淡路大震災の詩を書き続けて今日に至っています。

『春よめぐれ』には祈りの詩130篇が収載。私は安永さんの「(震災を)よく記憶すること、繰り返し記憶すること、失われたいのちのために、私たちが生きるために」また、「つながった時に他人ごとではなくなる。隣の隣は隣。経験や記憶はこんなふうにしてつながっていく。ひとりの他者となつながっていくことが大切」のことばや市井の人、詩の表現者としての生き方に感銘しました。

特定医療法人南山会は常によりよい医療を行うことによって、地域社会に貢献することを目的として設立されたものである。職員は常に技術の向上に心掛けるとともに、知性を磨き品性を養い、自己の人間形成に努めるべきである。

■ 臨床倫理

1. 精神障害者を扱う医療機関として、患者様の人格尊重や意思の尊重、自己決定権の尊重を最大限配慮した医療を展開いたします。
2. 患者様の機能的状態や病状に対する説明、診療内容、必要な事項の説明を、わかりやすく丁寧に行います。
3. 当院での医療が納得して受けいられるように、患者様が他医療機関でセカンド・オピニオンを求める機会を支援いたします。
4. 当院での医療にとどまらず、かかりつけ医療機関・福祉介護施設・障害者社会復帰施設などとの連携を深めて、患者様の生活の場を重視した医療とケアを目指します。

日常の倫理的問題に適切・迅速に対処するため、職業倫理・臨床倫理に関する検討を定期的に行います。

私の趣味はと聞かれて考えてみました。もう少し若い頃は友達に誘われ山登りをしたり、フェスに行ったりもしていました。しかし結婚やコロナ禍でそういった機会も減ってしまいました。趣味かどうかはわかりませんが何年か前からロードバイク（自転車）に乗るようになりました。最初は父が知人から頂いたものを譲り受けて乗り始め慣れるまでは恐怖心の方が勝っていました。慣れていくうちに風を切って走る気持ち良さが分かかってきたりロードレースを題材にした漫画「弱虫ペダル」を読んだりするうちに乗るのが楽し

私の趣味

くなってきました。そんなに遠くへは行きませんが休みの日には一人で走ってみたり、一緒に乗り始めた友人と河口湖を一周してみたりしたこともありました。最近はやいペースで通勤に使うことが主になってしまいました。（今の時期は暑すぎるのでさぼり気味ですが・・・）また時間がある時には富士五湖の方や清里の方などを走れたら気持ちが良いんだろうと思っています。

峡西老健保健センター

天野 浩志

万華鏡

「息子」

息子は小学5年生。私は姉妹で育つたため男の子の行動心理が理解できない所がある。息子は虫が好きだ。息子を保育園に迎えに行くとき必ず虫をもっていった。友達ママさんたちには「いつも虫を持ってますね」と少々困惑した顔で話しかけられた。ある日の朝の事だった。洗濯する時ポケットの中を確認するのだがその日の私は

甘かった様だ。カブトムシのご遺体に触れ悲鳴をあげた。カブトムシは三つに割れた。命の大切さを伝えるために息子にこんな事をしてはいけないと話した。息子は死んでいたが大切なカブトムシを大切に園服にそっと入れたのだと説明した。

小学生になり少しお兄さんになった息子に私は油断をした。先生から電話が鳴り、すぐに謝罪の心づもりをした。前回は登校中に田んぼに落ちた件だったが本日の謝罪はどうだっただろう。本日は蜂を捕まえようとして刺されたようで処置してくれたとのこと。幸い蜜蜂だったので手がぷっくり腫れた程度だったが命の危険があることを説明した。息子は蜂の種類

をよく調べるようになった。これで蜂を捕まえたりはしないだろう。私はまた油断した。今度はへびを捕まえ皆に披露していたとの目撃情報が多数寄せられた。へびにも多数の種類があり、危険があることを説明した。息子はへびの種類も調べるようになった。これでへびをむやみに捕まえたりはしないだろう。

「昭和の子供」と近所で言われた息子も少し大人になりゲームに触れ、「令和の子供」になってきた。あと少しで思春期を迎える息子の生手が理解できるように研究していきたいと思っている。

峡西老人保健センター

小林 恵利

こちら編集室

いまこの文章を書いている時は8月の半ば頃。夏真っ盛りな中、暑さで頂垂れています。この号が出る10月にはどうでしょうか、秋晴れで気持ちよく過ごせることを祈りながら筆を取っています。

いまは新型コロナウイルスを中心にニュースが流れており、恐らく10月現在も暗い話題ばかり続いていることと思います。人は不思議なもので、テレビや雑誌、新聞などでは明るい話題よりも不安を煽ったり誰かを批判したりなどネガティブな話題の方が人の視線を集めやすいそうです。私がよく見ている動画の投稿者も、『おすすめの〇〇3選』という題名の動画よりも『この3つは絶対買わない！』という動画が伸びやすい事を話していました。その理由については、人間の本能として危険を避けなければいけないというものがあり、その回避のために悪いニュースにどうしても目がいつてしまうからと話していました。

その一方で、そういった悪い話題を目にしてしまうと人間どうしても気が滅入ってしまうものです。いまの状況で明るい話題というのも難しいかもしれませんが、考え方ひとつで良い事も見つかるかもしれません。私の場合、コロナでライブ等が無くなったせいで時間が余ってしまい、なんとなく始めたダイエットでこの1年で20キロ以上痩せました。見つからなければ何か自分で作り出すというのも一つの手法も

（も）

今月の予定 10月

- 4日 精神保健福祉士実習 (~22日)
- 9日 外来ケアプロセス会議
- 14日 クリニカルパス委員会 治療プログラム委員会
- 26日 高齢者プロジェクト

今月の一枚



曇り空ですが・・・
虹が見えたので。

おあしす広場

今月もおあしすに素敵な作品が寄せられました。

なす馬ややさしき祖母がやってくる
石坂 克巳

虫の音にゆっくり眠れる頼りじゃん
今福 和人

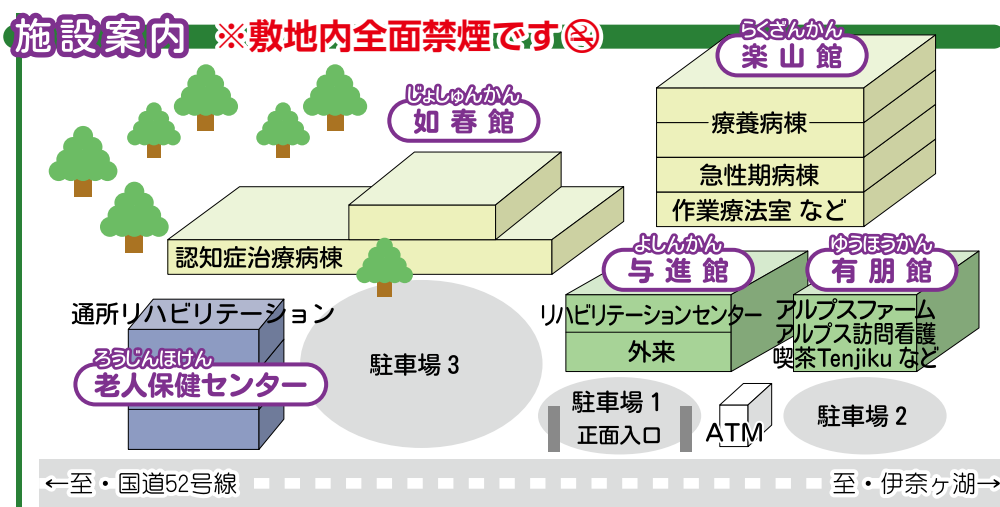
コロナ禍の行事白紙の子どもたち
恵 風

笛の音や遺跡の里の柿の秋
塚原 光明

夜の庭鈴虫が鳴きこおろぎや
渡辺 あき

この胸の奥にある事実と歩いていく
渡辺 奈美子

※掲載は五十音順です。



- 交通案内**
- JR中央線
甲府駅より車で40分
 - JR身延線
東花輪駅より車で15分
 - 中央高速
甲府昭和ICより車で30分
 - 中部横断道
南アルプスICより車で5分
 - 山交バス
甲府-南アルプス市甲西支所行き (十五所経由) 鵜沢営業所行き (西野経由) 鵜沢営業所行き 小笠原下仲町バス停徒歩5分